

<b>学校教育目標</b>	笑顔いっぱい みんなかがやく 北山田の子を育てます				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ きれいな学校をつくる子(公)</li> <li>○ たくましい体をつくる子(体)</li> <li>○ やさしい心をはぐむ子(徳)</li> <li>○ まちを大切に作る子(開)</li> <li>○ たのしく学習する子(知)</li> </ul>				
<b>学校概要</b>	創立 25 周年	学校長 滝川 尚美	副校長 宮本 仁司	2 学期制	一般学級: 16 個別支援学級: 3
	児童生徒数: 513 人		主な関係校: 東山田中、山田小、東山田小		

教育課程全体で育成を目指す資質・能力	中ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける「9年間で育てる子ども像」と具体的な取組
自尊感情、自己肯定感を高め、未来を創り出す力 ・交流し協働できる力(友達や地域) ・自ら考え行動し課題を解決する力 ・自分の価値を認め、評価できる力	東山田中 山田小 東山田小 北山田小	自分を高め、互いを認め合い、人とつながる児童・生徒を育みます。 フレンドチーム活動、幼稚園・保育園との年間を通じた交流、地域の方とつながった学習、学習での学年同士の交流、など「人とつながる」活動を通して、「ありがとう」と言える、言われる経験を積むことで自尊感情、自己肯定感を育み、未来を創り出す力を育みます。

<b>中期取組目標</b>	子ども第一。みんな笑顔の温かい学校。 ~チーム北山田で実現!!~ ○「北山田の子どもは全職員で指導する」 児童支援専任を中心とするチームによる指導の充実を図ります。 ○「授業で勝負」 ICTの活用、授業研究会の充実を通して授業力を向上させ、楽しく魅力ある授業を目指します。 ○「全職員で人材育成」 職員のキャリアステージに合わせたOJTを進め、教職員の力量をアップさせます。 ○「『のりしろ』を出し合える教職員集団」 教職員一人ひとりが学校をよりよくしようと協働できる組織を作ります。 ○「地域の中の学校」 地域の教育力や外部の人材を授業に活用し、地域行事への子どもの参加を推奨します。
---------------	--

重点取組分野	具体的取組
<b>生きてはたらく知</b> 担当 研究部	①算数科におけるコース別学習に取り組み、子ども一人一人に合った学習を実現する。②重点研究のテーマを「探求的な活動を通して身の回りのひと・もの・ことに本気がかかわる生活科、横浜の時間」とし、教科横断的に取り組む活動を通して、主体的に学習しようとする態度を養う。
<b>豊かな心</b> 担当 総務部	①幼稚園・保育園との交流、地域の方との学習、学年同士の交流など他社と「つながる」教育を通じて「ありがとう」と言われる、言える経験を積むことで、自尊感情、自己肯定感を育む。②Y-Pアセスメントを実施し、他を思いやる温かい学級風土を作る。
<b>健やかな体</b> 担当 指導部・体育部	①地域人材の協力を得て、持続可能な運動や体操を継続して行い、体力と自己効力感の向上に取り組む。②養護教諭による性に関する授業や学校医を招き、話を聞くことを通じて自分の体について知る機会をもつ。③オリンピック・パラリンピックを活用し、運動の推進、障害者理解を推進する。
<b>児童生徒指導</b> 担当 指導部	①全学年で教科担任制を取り入れ、一人の児童に対して複数の教員が関わり、その子のもつ様々な側面を捉えながら、児童指導に生かすようにする。②多様化・複雑化する課題にも、チームによる指導で適切かつ迅速な対応ができるようにする。
<b>特別支援</b> 担当 指導部	①関係機関との連携を図り、個に応じた指導を行えるようにする。②子どもの特性の理解を深め、得意なことを引き出す支援につなげることで、自尊感情を育む。③個別の指導計画を作成し、それに基づき支援をするとともに子どもに関わるすべての教職員の共通理解を図れるようにする。
<b>ICT活用</b> 担当 教育の情報化推進	①主にプログラミング教育を通して、情報活用能力の育成を図る。②ICT支援員と連携し、積極的にICTを活用した授業を計画し、子どもの学習意欲を高める。③プロジェクターを活用し、デジタル教科書のアニメーションを見やすくしたり児童の考えを共有したりすることで児童の学習意欲を高める。
<b>地域連携</b> 担当 生活科・総合的な学習の時間	①近隣の幼稚園、保育園中学校と情報交換し、災害の状況を想定した訓練を行う。②地域の中の学校を実践するために地域の人材を積極的に活用する。③まち懇、学校運営協議会、学校便り、学校HP等を活用して地域と「つながる」教育を行う。
<b>いじめへの対応</b> 担当 指導部	①定期的なミニ面談やYPの実施等により学級における子どもの居場所づくり・絆づくりを進め、いじめの未然防止に努める。②職員一人一人が児童の変化に気付くアンテナを高くもちながら児童を見ることで、いじめの早期発見ができるようにし、児童や保護者に寄り添って早期解決を図れるようにする。
<b>人材育成・組織運営(働き方改革)</b> 担当 教務部	①チームマネージャーを活用した教科担任制を行うことで、学年の組織を強化すると共に複数の担任による教材研究や保護者対応を進められるようにする。②メンターチームでは、すぐに役立つ内容の研修を取り入れ、学級経営や授業に生かすことができるようにする。③情報ツールなどを活用し、教務会での情報を上手に全体で共有するなど、効率的に学校経営を行えるようにする。